

新型コロナウイルス

# 災害時の避難所対応は

## 感染症対策を講じていく

**問** 大雨や台風シーズンを迎えるに当たり感染防止を考慮した避難のあり方と避難所対応は。

仕切りで区切るなど、感染症対策を講じていく。  
**問** 以前から段ボールベッドを要望していたが、どうなったか。

**佐藤町長** 新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則である。各避難所に体温計、マスク、消毒液を設置し、人と人の距離を確保しつつ発熱や咳などの症状が出た方の専用スペース確保のため段ボール製の間

甲斐谷総務課長 現在1つの避難所に約10セット設置している。ほかの避難所についても設置の必要があると考えている。  
**問** 一人親世帯など子育て世帯への町の支援は。

**町長** 一人親などで児童扶養手当を受給している世帯に対し、国の追加支

援に上乗せして給付金を支給する方向で検討している。  
**問** 大学生、専門学生がいる一人親家庭の負担が大きいが、支援策は。  
**濱登健康子ども課長** 今後、検討する。

### メガソーラー事業

### 住民生活への影響は

## 県と連携し対応していく

**問** 田名部地区ではメガソーラー事業により森林が広範囲にわたり伐採された。住民生活への影響について認識と対応は。

じられているものと認識している。町は事業実施者と開発協定を締結しており、協定に基づいた適正な対応を求めている。

**町長** 本事業は、県知事から林地開発行為の許可を受け災害防止や環境保全など住民生活に影響を及ぼさないよう対策が講

**問** 昨年の10月の台風や今年4月の大雨で、近くを通る三鉄の線路根元付近まで土砂や水が押し寄せた。現地を見てどう感

じ、どう対応するのか。  
**佐藤農林課長** 河川付近に土砂が流入していることは確認している。事業実施者が整備した洪水調整池や沈砂池などの防災施設が機能しているかどうかの確認を含め、県と連携し対応していきたい。

**問** 中央の道路設置案が国との交渉で通る確率は。  
**甲斐谷副町長** 確率は70〜80パーセントはあるものと思つて、その実現に向けてまい進していく。



12月末完成予定の田名部地区メガソーラー施設

台風19号被害

## 田の浜地区の復旧は

国と協議し  
改修していく

**問** 検証委員会からの報告を受け、復旧方針の住民説明会は行われたか。受け止めと対応は。

**町長** 住民説明会は3回開催し、地区住民46人が参加した。参加者からは概ね理解を得られたが、中央の道路を通すべきという意見・要望が出された。現在、国と協議を進めており、公園内を流れる準用河川女川についても改修予定。



議員 木村洋子  
(日本共産党)